

CASE Study

複数システムによる開発 手段の混在を連携ツール で統一, 開発工数を1/3に



社内に混在する複数のシステムそれぞれの開発手段を、連携ツールで統一した。それにより各システムでの対応範囲が大幅に広がり、また連携ツールによって開発自体の生産性もあがったことから、次々と新しいチャレンジを行なうTJMデザインの事例を紹介する。

株式会社TJMデザイン

キッチンハウス事業部
営業企画室業務改善推進グループ
マネージャー 佐藤 卓也 氏

TJMデザインは建築工具を扱うTAJIMA、WEBで建材販売を行なうTJM DINET、日本最高級のカスタムキッチンブランドkitchenhouseの3ブランドを主力事業としている。カスタムキッチンを扱うキッチンハウス事業部の佐藤氏は、事業部の事務効率の向上を実現するソリューションを探していた。そこで、SFAとして利用していたSalesforceと基幹システムのデータ連携ツールとして選定したのが、DCSpiderである。

DCSpiderを導入する以前は、基幹システムであるAS400からSalesforceにマスタや実績データを日次で同期するために、1) AS400 からCSVに書き出し、2) CSVをSQLserverに書き込み、3) SQLServerでデータを加工しCSVに書き出し、4) DataLoaderでSalesforceに更新をかけるという作業を、各ステップそれぞれで終了の予測時間でスケジューラやジョブ、DataLoaderをバッチで動かすなどして行っていた。そのため、どこかで失敗したり遅れると、次のステップでは空のデータで更新がかかってしまい、全て手動でやり直さなければならず、大変な作業であった。

DCSpiderの導入

DCSpiderの導入によって、この問題は解消された。一連の処理の各ステップは終了を検知して次のステップに進むこ

TJMDSIGN

株式会社TJMデザイン
本社：東京都板橋区
URL：http://www.tjmdesign.com/

主な事業：プロ向け建築工具製造、WEBでの建材販売、オリジナルキッチン製造



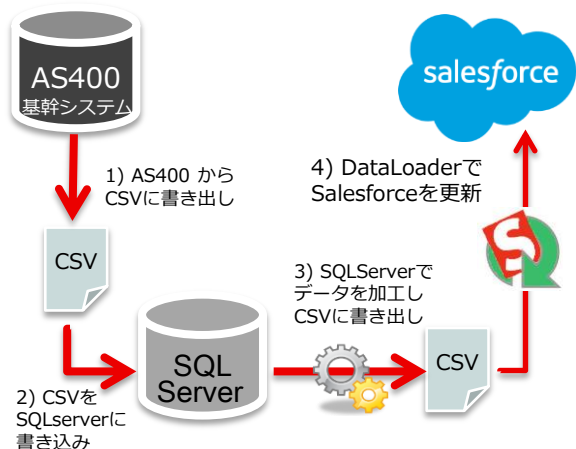


IT戦略本部
システム開発グループ
本間 千寿 氏

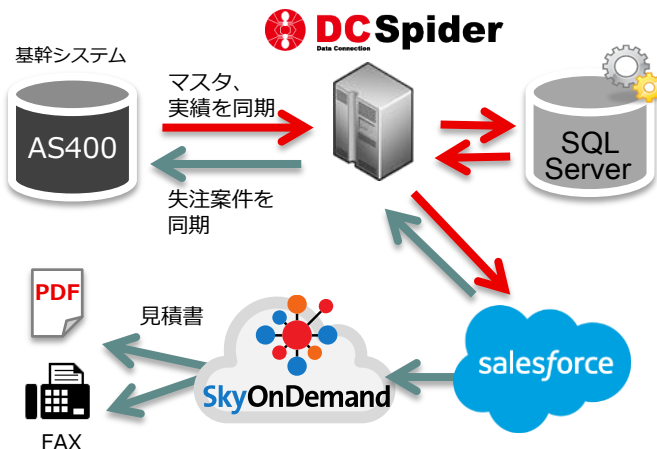
とができ、エラーもハンドリングできるようになったため、以前のように失敗した場合の手作業が必要なくなった。また、それまではこの同期処理に1時間半ほどかかっていたが、約半分の時間で終わることができるようになった。「DCSpiderの導入で、なにより開発工数を大幅に短縮できました。以前に比べ1/3程度の時間短縮ができています。」とIT戦略本部の本間氏は語る。

▼システム間連携の実装イメージ

DCSpider導入前



DCSpider導入後



他にも、Salesforce上でボタンをクリックすると、Salesforceのデータを報告書などのドキュメントとしてエクセルに加工して書き出し、ファイルサーバに保存する機能などもDCSpiderで実装している。

SkyOnDemandの導入

クラウド型のデータ連携サービスSkyOnDemandの導入を決めたのは、DCSpiderと同時期に導入したSkyVisualEditorの効果もあり、Salesforceの活用が事業部全体に広まった後である。これまでAS400で作成していた見積書をSkyOnDemandを利用することで、Salesforce上で入力作業のすべてを完結させられるようになった。DCSpiderとSkyOnDemandの使い分けは、クラウドで完結する処理か、VPN接続が必要なか、本社が休みの土日にも処理が発生するかといった条件で切り分けている。現在、施工業者への注文書は基幹システムで作成しているが、現場で担当者がタブレットを使いSalesforceに入力して作成し、そのままFAX送信する仕組みを、SkyOnDemandで構築中である。

連携ツールで スピード感のある内製を

このように、DCSpiderをはじめとする連携ツールの開發生産性の高さによって、スピード感のあるシステムの最適化を推進するTJMデザインでは、他事業部の基幹システムであるSAPとSalesforceの連携のために、新たにDCSpiderの上位版であるDataSpiderの導入も決めた。少ないメンバーで全社のシステムを推進し最大の効果を出す、連携ツールは力強いパートナーとなった。



IT戦略本部
システム開発グループ
中田 真未 氏